（様式２）

研究業績等の記述について

1. 「論文」は査読のある原著論文を意味しており、これを適当なテーマ別に分け、その中で年度・月順に並べ、ナンバリングをすること。

２．同じ内容の論文については、同じ番号にダッシュ（´）を付すること。

３．連名論文の内、連名者の誰かがドクター論文として使用した場合は、その人の名前の肩にＤ印を付けること。

４．国際会議論文、解説、総説、学会発表等は、論文の次に別に記入のこと。

５．論文等は、掲載（発表）済みもしくは掲載（発表）が決定したものを記入することとし、投稿中などの未確定なものは除くこと。

６．「学会ならびに社会における活動」、「教育等に対する貢献」については、サンプルを参考にして内容を適当に判断すること。

７．特許があれば、その出願状況を記述する。

８．外部資金については、過去5年程度のものを記述する。ただし、募集要項に指定がある場合は、それに従うこと。

研　究　業　績

　　氏　名　府大　太郎

Ⅰ 著　書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 著　書　名 | 発行所名 | 発行年月（西暦） | 著者、分担執筆者等 |
| 1. 化学ことはじめ2. 化学入門3. Physical Handbook（The 3rd Edition）　Chapter 5以上、著書総数3報（うち、単著1報、分担執筆2報） | 関西出版社（総ページ数：123）府大出版社（pp.85-110）Haagen-Dazs Inc.（pp.123-154） | 2012.52013.72014.6 | 府大 太郎　府大 太郎　市大 花子府大 太郎（分担執筆） |

Ⅱ　論　文

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 論　文　名 | 発表機関名（雑誌名）、巻号、ページ | 発表年月（西暦） | 著者 |
| **A.化学物質が示す物理化学挙動に関する研究**1.Exerimental Study on Chemical-Induced Structural Transition of ABC **B. 化学物質の合成に関する研究**1. Synthesis of Chemical Martials by Continuous Reaction2. Characterization of Material by Scanning Electron Microscopy | J. Phys. Chem. A, Vol.100, pp.12-18J. Advanced Chemistry,Vol. 20, pp.100-107Chemical Surface Analysis,Vol. 10, pp.200-205 | 2010.32015.72016.12 | T. FudaiH. IchidaiJ. OsakaT. FudaiH. IchidaiDJ. OsakaH. IchidaiT. FudaiJ. OsakaS. NagoyaD |
| **C. 物理現象の解析に関する研究**1. 天体の位置と動きの測定に関する研究1’ Measurement of Position and Motion ofCelestial Bodies（論文1の英訳）以上、論文総数4報（うち、筆頭著者・責任著者数3報） | 天体科学[http://www.science-direct/publication](http://www.science-direct/publications)/jse/v10n1/Schafer-234.htmlJ. AstrophysicsVol. 25, pp.95-105 | 2017.22017.8 | 府大 太郎\*市大 花子T. Fudai\*H. Ichidai |

Ⅲ　国際会議論文等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 論　文　名 | 学会名、論文等の番号、場所 | 発表年月（西暦） | 著者 |
| **A.化学物質が示す化学挙動に関する研究**1. Numerical Study on Chemical Behavior of AB-CDE **B. 化学物質の合成に関する研究**1. Synthesis of Chemical Martials by Batch Reaction2. Characterization of Material by Scanning Electron Microscopy**C. 物理現象の解析に関する研究**1. Analysis on Lunar Movement by using a Telescope 以上、国際会議論文発表総数4報（うち、筆頭著者数3報） | Proc. of the 2013 AChS (American Chemical Society) Annual Meeting, pp.123-134(San Francisco, USA) Proc. of the10th USA-Japan Symposium on Chemicals & Physics, Paper #452 (Total 5pages)(CD-ROM)(Orlando, USA)Proc. of the 5th International Conference on Chemistry, pp.12-15(Kobe, Japan)Proc. of 10th InternationalConference on Lunar, p.204 (London, UK) | 2013.52014.122015.92017.8 | T. FudaiH. IchidaiJ. OsakaH. IchidaiT. FudaiJ. OsakaDT. FudaiJ. OsakaH. IchidaiS. NagoyaT. FudaiH. IchidaiJ. Osaka |

Ⅳ　解説・総説等

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 論　文　名 | 発表機関名（雑誌名）、巻号、ページ | 発表年月（西暦） | 著者 |
| 1. 化学物質が示す化学挙動に関する研究以上、解説・総説総数1報（うち、筆頭著者は1報） | 化学と産業,Vol. 10, pp.100-103 | 2015.4 | 府大 太郎市大 花子 |

学会ならびに社会における活動

　　氏　名　府大　太郎

|  |  |
| --- | --- |
| 年　　月　　日（西暦） | 事　　　項 |
| 2010年4月1日　　　　　～2017年3月312012年4月1日　　　　　　　～現在2014年4月1日　　　　　　　～現在2015年4月1日　　　　　　　～現在2015年4月1日　　　　　　　～現在 | 　化学物理工業会　学生会員物理化学会　正会員化学物理学会　理事大阪府公害対策審議会委員通産省産業技術審議会専門委員 |

教育等に対する貢献

　　氏　名　府大　太郎

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科　目　名　等 | 事　　　項（日付は西暦） | 備　　考 |
| ティーチング・アシスタント（京東大学工学部）（学域）化学実験化学実験Ⅱ（大学院）化学物理特論 | 2010年4月1日～2010年8月31日2011年9月1日～2012年3月31日2014年4月1日~現在2014年4月1日~現在2014年4月1日~現在 | 従事分担分担担当 |

※助手・TAの期間中は､備考欄に全て従事と記入（助教の場合は、分担か担当を記入）

特　　許

　　氏　名　府大　太郎

Ⅰ 特許登録

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 特　許　名 | 特許登録番号 | 登録年月（西暦） | 発明者 |
| 1. 化学物質の計測方法 | 特許第501234号 | 2016.4 | 府大 太郎市大 花子 |

Ⅱ 特許公開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 特　許　名 | 特許公開番号 | 公開年月（西暦） | 発明者 |
| 1. 化学物質の製造方法 | 特願2015-23456 | 2015.6 | 府大 太郎 |

外　部　資　金

　　氏　名　府大　太郎

Ⅰ　科学研究費補助金等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | 研究種目名 | 期　間 | 金　額　（千円） | 代表・分担の区別 |
| 1. 化学物質の測定方法に関する研究2. 化学物質の分析手法に関する研究 | 科学研究費補助金・基盤研究（B）科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 | 2010.4～2013.32015.4～2017.10 | 総額25,000（分担9,000）総額3,500 | 分担代表 |

Ⅱ　教育・研究奨励寄付金等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | 寄付申込先 | 期　間 | 金　額　（千円） | 代表・分担の区別 |
| 1. 化学物質の合成法に関する研究 | 日本合成学会(大学院生研究奨励賞) | 2010.5～2011.3 | 150 | 代表 |

Ⅲ　受託研究等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | 受託研究先 | 期　間 | 金　額　（千円） | 代表・分担の区別 |
| 1. 化学物質の連続反応に関する研究2. 化学反応の解析に関する研　　 究 | 反応合成財団化学反応振興財団 | 2014.4～2015.32015.4.～2016.3 | 総額20,000総額10,000（分担0） | 代表分担 |

Ⅳ　共同研究等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | 共同研究先 | 期　間 | 金　額　（千円） | 代表・分担の区別 |
| １．化学物質の微量合成 | 株式会社ABC | 2015.4～2016.3 | 総額4,000 | 代表 |